

令和2年度 学校だより



令和2年12月4日(金)

御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail:

12月号

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp

「やっぱり観音山は感動山だった」 時間を守る5年生の花が開花

11月27日(金)28日(土)の1泊2日、5年生の観音山自然教室を実施しました。県内も新型コロナウイルスの感染の拡大が見え始め心配しましたが、7月実施の予定を11月後半の金、土曜日にする事で、他学校と同宿にならないように単独実施にすることができました。観音山少年自然の家でも、食事の場所での完全個別化や入浴の際の人数制限、施設内消毒の徹底を図り、感染防止対策を強化しました。また、学校でもマスク着用や手洗い消毒の徹底を指導するとともに、保護者の皆様の御協力をいただき、実施1週間前後の検温等の健康管理にも努めていただきました。何より、子供たちの自覚が高く、落ち着いた態度で自然教室に臨むことができたことも、自然教室成功の要因となりました。天候にも恵まれて、参加した児童は、すべての活動を全員でやり遂げることができました。皆様の御理解と御協力に感謝いたします。エピソードの一部を紹介します。

〈エピソード1〉

「第一小学校の子供たちは、時間を守ることができ素晴らしいです。すべて予定時刻より早く進めることができました。」と所員さんからほめていただく場面が多く、「約束を守ろう」とする子供たちの花を感じました。

〈エピソード2〉

入所してはじめてトイレに行った後、男女ともにトイレの履物がぐちゃぐちゃに脱ぎ散らかされていました。でも、先生が数人の5年生に声掛けをしたところ、その子供たちが急いで整頓してくれました。そして、その後どの子も履物を整頓して脱ぐようになりました。自分たちで声掛けができたことに「自分からみんなで」の意識が感じられました。

〈エピソード3〉

山頂登山やナイトウォークラリーで、子供同士声を掛け合って励まし合う姿がたくさん見られました。ナイトウォークラリーでは、山の中の夜道で泣き出してしまう子もいましたが、班のみんなで声を掛け合ったり、手をつないだり、背中をさすったりして歩きとおし、全員が時間内にゴールすることができました。ひとまわり成長して遅く見えました。

〈エピソード4〉

毎年、夜なかなか寝付かれず、布団の中でひそひそ話をしたり、何度もトイレに行ったりして遅くまで起きている子が多い中、消灯時刻を守って、みんなすぐに寝てしまいました。全力で頑張った証拠です。

〈エピソード5 帰校式より〉

山頂登山では、長い道のりの中、つらくてもあきらめずに登ることができました。これからどんな苦しいことがあっても最後まであきらめず頑張って乗り越えていきます。(尾崎亘謙さん)

ナイトウォークラリーで、真っ暗な中、みんなの声かけをして協力できたことがよかったです。その協力を学校生活に活かしていきます。(中村建斗さん)

(校長 増田久美子)

